

第3次対がん総合戦略研究事業の成果について

厚生労働科学研究の研究成果を広く国民に情報公開するために、研究報告書をデータベース化しており、インターネット上で閲覧、検索等を行うことが可能。

研究目的:
膵臓癌のがんにおいてジェネティック・エピジェネティックな遺伝子異常を網羅的に解析し、がんの遺伝子型と表現型の相関 (genotype/phenotype correlation) を明らかにして、ヒトの膵臓癌における多発腫瘍がん発症のシナリオの全貌を解明する。

研究方法:
独自に開発した高密度アレイを用い、膵臓癌のがんで比較ゲノムハイブリダイゼーション解析を行った。Task1/Is14 次調マウスを作成・解析した。TOF-MS による代謝産物の同定・同定精度向上のための解析方法を明らかにした。プロテオーム解析技術の革新を図り、シグナル伝達経路 (GMP) の予後予測力を検証した。発がん過程において DNA メチル化による遺伝子発現調節を解析し、膵臓癌の発症メカニズムの解明に貢献する。米国実験動物資源協会 (IACUC) の承認を得た。

膵臓癌における多発腫瘍がん発症が進展していることを示した。胃がん・肝がん・肺がん・膵臓がんが、膵臓癌を前駆に自然発症することを見出した。TOF-MS の結合蛋白として、G 蛋白質共役型受容体 Gpr49 の発現がシグナル伝達経路の下流で制御され、膵臓癌の発症に関与していることが示された。また、膵臓癌の発症に関与していることが示された。膵臓癌の発症に関与していることが示された。膵臓癌の発症に関与していることが示された。

検索
お気に入り

http://mhlw-grants.niph.go.jp/

厚生労働科学研究成果データベース

2008.11.17

※お問合せ時間：9:30～17:00(平日)
国立保健医療科学院 研究情報センター
図書階サービス室
担当: 厚生省 GRANTS SYSTEM 係
TEL: 048-458-6211

検索項目設定

検索

掲載年別一覧

年度	掲載数	報告書本文
平成19年度(2007年度)	1520件	201件
平成18年度(2006年度)	1779件	506件
平成17年度(2005年度)	1597件	367件
平成16年度(2004年度)	1820件	235件
平成15年度(2003年度)	617件	109件
平成14年度(2002年度)	833件	127件

厚生労働省 国立保健医療科学院

厚生労働科学研究成果データベース
http://mhlw-grants.niph.go.jp/

厚生労働省が取り組むがん研究の 一般向けの成果発表会等について

(平成20年度)

第3次対がん総合戦略研究事業

平成21年2月28日(土) 13:00~15:30

会場 国際研究交流会館(東京・築地 国立がんセンター内)

がん臨床研究事業

25件の成果発表会を開催

予定等については、財団法人 日本対がん協会のホームページにて公開中

<http://www.jcancer.jp/kinten/2008ippan.html>

がん研究助成金

平成20年10月18日(土)に一般公開講座を開催

テーマ「有効な新薬をより早く」

平成20年度 研究

ファイル(E) 編集(E) 表示(V)

戻る

印刷

日本対がん協会は、がんの予防の

財団法人
日本対がん協会

トップページ

がん臨床研究推進事業

厚生労働科学研究
がん臨床研究推進事業

平成20年度 がん臨床研究推進事業の研究成果
一般向け

その他開催が決定された計画はこちら。(厚生労働省ホームページ)

No.	申請者	申請者所属 職 名	研 修
			発表テ
			放射線治療

がん臨床研究成果発表会

2008年10月18日

平成20年度厚生労働省がん研究助成金によるシンポジウムと市民公開講座

がん薬物療法

10/18 2008 9:00~ 研究者向けシンポジウム
15:40~ 市民公開講座

会場：主会場 国際研究交流会館(東京・築地 国立がんセンター内)

中継 全国各地の17会場よりテレビ会議システムにてご参加ください